

**HAIR CUTTING METHOD**

Patent Number: JP1029210  
Publication date: 1989-01-31  
Inventor(s): SEKIYA MAKI  
Applicant(s): SEKIYA MAKI  
Requested Patent: ☐ JP1029210  
Application Number: JP19870187010 19870727  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A45D24/32  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PURPOSE:** To easily make hair length uniform by pressing a ruler member to a scalp, while the hair to be cut being stretched approximately straight under the sucking action of a suction device, and then cutting and collecting the hair into the suction device after determining cutting length.

**CONSTITUTION:** At the time of cutting hair 4 to uniform length so as to keep approximately constant length from a scalp, the hair 4 to be cut is stretched approximately straight under the sucking action of a suction nozzle 3 and in this state, a ruler member 9 is pressed to the scalp, thereby determining the length of the hair 4 to be cut. Then, the hair 4 is cut at necessary positions. As a result, the hair 4 can be cut approximately to uniform and constant length without needing high degree skill fulness.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-29210

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月31日

A 45 D 24/32

7618-3B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 髪のカット方法

⑯ 特 願 昭62-187010

⑰ 出 願 昭62(1987)7月27日

⑱ 発 明 者 関 谷 真 樹 愛知県東海市加木屋町北鹿持44-183番地

⑲ 出 願 人 関 谷 真 樹 愛知県東海市加木屋町北鹿持44-183番地

⑳ 代 理 人 弁理士 伊藤 研一

明細書

1. 発明の名称

髪のカット方法

2. 特許請求の範囲

(1). 頭皮からほぼ一定の長さとなるように髪を揃えてカットする際に、

カットされる髪を吸引装置の吸引作用によりほぼまっすぐに伸ばしながら定規部材を頭皮に押し当ててカットされる髪の長さを決定したのち、所要のカット位置にて髪をカットするとともにカットされた髪を前記吸引装置内に回収することを特徴とする髪のカット方法。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は、髪の長さをほぼ一定に揃えてカットする髪のカット方法に関する。

[従来技術]

髪の長さをほぼ一定に揃えてカットする従来の方法としては、櫛等によりカットされる髪をまっすぐに伸ばした状態にて目視により髪の長さを決定

した後、所要の位置にて櫛等により髪をカットしている。

[発明が解決しようとする問題点]

然し乍、上記した従来のカット方法は、櫛等により髪をまっすぐに伸ばした状態を保ちながら髪の長さを決定してをカットしなければならず、高い熟練度が要求されている。また、頭の形状に応じて髪が伸ばされる方向が異なるため、髪の長さをほぼ一定に切り揃えることが困難であった。このため、カット位置に応じて髪の長さが異なり易い問題を有している。

[発明の目的]

本発明の目的は、上記した従来欠点に鑑み、高い熟練度を要することなく、髪をほぼ一定の長さに揃えてカットすることが可能な髪のカット方法を提供することにある。

[問題点を解決するための手段]

このため本発明は、頭皮からほぼ一定の長さとなるように髪を揃えてカットする際に、カットされる髪を吸引装置の吸引作用によりほぼまっすぐ

に伸ばしながら定規部材を頭皮に押し当ててカットされる髪1の長さを決定したのち、所要のカット位置にて髪1をカットするとともにカットされた髪1を前記吸引装置内に回収するように髪1のカット方法が構成される。

#### [発明の作用]

本発明は上記のように構成されるため、吸引装置の吸引作用によりカットされる髪1をほぼまっすぐに伸ばすとともに頭皮に定規部材の先端を押し当てて髪1のカット長さを決定したのちに髪1がカットされるため、髪1の長さをほぼ一定に揃えてカットすることが可能である。また、カットされた髪1を上記吸引作用により前記吸引装置内に回収することが出来る。

#### [実施例]

以下、本発明の一実施例を図面に従って説明する。

第1図は本発明方法を具体化した装置例を示す斜視図、第2図は第1図A-A線の縦断面図であり、吸引装置1の吸入側には先端に扁平状の吸込

口3aを有する吸引ノズル3が、蛇腹状の可撓性パイプ5を介して接続され、前記吸引装置1には後述するようにカットされて吸い込まれた髪4(第3図に示す)を分離回収するフィルター(図示せず)が内蔵されている。

前記吸引ノズル3の外周には軸線方向に延びる中空部7aを有する円筒状のホルダ7が設けられ、該中空部7aには先端からの距離に応じた目盛9aが記入された定規部材としてのスケール板9が、先端が前記ホルダ7の前端から突出するように軸線方向へ摺動可能に支持されている。そして前記スケール板9の後端とホルダ7の抜端との間に応じた中空部7a内には圧縮ばね11が取付けられ、該圧縮ばね11の弾性力により前記スケール板9が、常に先端がホルダ7から突出するように付勢されている。前記スケール板9には軸線方向に延びる長孔9bが形成され、該長孔9bには前記ホルダ7にねじ止めされる調整ねじ13の軸部13aが摺接可能に支持されている。該軸部13aの軸端には前記スケール板9に掛止する段部13b

圧縮ばね11の弾性力により先端側へ移動され、その先端と頭皮との当接状態が保持される。

そしてスケール板9の目盛9aを参照して吸引ノズル3の先端がカットされる髪4の長さに応じた位置まで離間された後に調整ねじ13がねじ止めされると、カットされる髪4の長さに応じた頭皮と吸引ノズル3先端との離間状態が保持される。そして上記状態にてスケール板9の目盛9aを参照して髪4のカット位置(第3図に一点鎖線で示す)にて挟等によりほぼまっすぐに伸ばされた状態で髪4がカットされたのち、カットされた髪4が吸引装置1内に吸込まれて回収される。

上記作業の繰返しにより髪4が所要の長さに揃えられた状態でカットされるとともにカットされた髪4が吸引装置1内に回収される。

このように本実施例方法は、吸引装置1による吸引作用によりカットされる髪4を吸引ノズル3内にてほぼまっすぐに伸ばした後、スケール板9の目盛9aを参照してカットされる髪4の長さを確認しながらカットすることが出来る。これによ

が一体形成されている。そして前記スケール板9が圧縮ばね11の弾性力に抗して後方へ移動された後に調整ねじ13がねじ止めされると、スケール板9の移動状態が保持される。前記スケール板9の先端には軟質ゴム等の弾性部材15が取付けられ、頭皮に対するスケール板9の押し当て時における押圧力が緩和される。

次に、上記のように構成された装置による髪1のカット方法を第3図に従って説明する。

吸引装置1の電源スイッチがON操作された状態で吸引ノズル3の先端及びスケール板9の先端がカットされる髪4の頭皮箇所1に押し当てられると、カット箇所1に応じた髪4が吸込口3aを介して吸引ノズル3内に吸い込まれるとともにスケール板9が圧縮ばね11の弾性力に抗して後方のホルダ7内に位置するように移動される。これにより吸引ノズル3内に対する吸引に伴ってカットされる髪4が吸引ノズル3内にてほぼまっすぐに伸びるように伸ばされる。そして吸引ノズル3がカット箇所1から徐々に離間されると、スケール板9は

り高い熟練度を要することなく髪4を一定の長さ  
に揃えてカットすることが出来るとともにカット  
された髪4を吸引装置1内に回収することが出来  
る。

上記説明は、単一で偏平状の吸込み口3aを有  
する吸引ノズル3によりカットされる髪4を吸込  
んで髪4をほぼまっすぐに伸ばす方法としたが、  
第4図に示すように所要の長さにて軸線方向に伸  
びる吸込口41aが軸線と直交する方向に複数配  
列された幅広い状の吸引ノズル41を使用し、一度  
の作業により多数の髪4をほぼまっすぐに伸ばし  
ながらカットする方法であってもよい。

また、上記説明は圧縮ばね11により常にホル  
ダ7の前端からスケール板9の先端が突出するよ  
うに付勢されるとともに頭皮に対する先端の押し  
付けにより移動されるスケール板9の移動状態を  
調整ねじ13により保持する構成としたが、第5  
図に示すようにホルダ7にカム溝51aが形成さ  
れた調整ダイヤル51を回転可能に支持するとと  
もに前記ホルダ7内に軸線方向へ移動可能に支持

されたスケール板9に取付けられたカムピン53  
を前記カム溝51aに係合し、前記調整ダイヤル  
51の回転操作により前記スケール板9を前記カ  
ム溝51aの偏心底に応じて軸線方向へ移動させ  
ることによりカットされる髪4の長さを決定する  
方法であってもよい。

#### 〔発明の効果〕

このため本発明は、高い熟練度を要することな  
く、髪4をほぼ一定の長さに揃えてカットするこ  
とが可能な髪のカット方法を提供することが可能  
である。

#### 4. 図面の簡単な説明

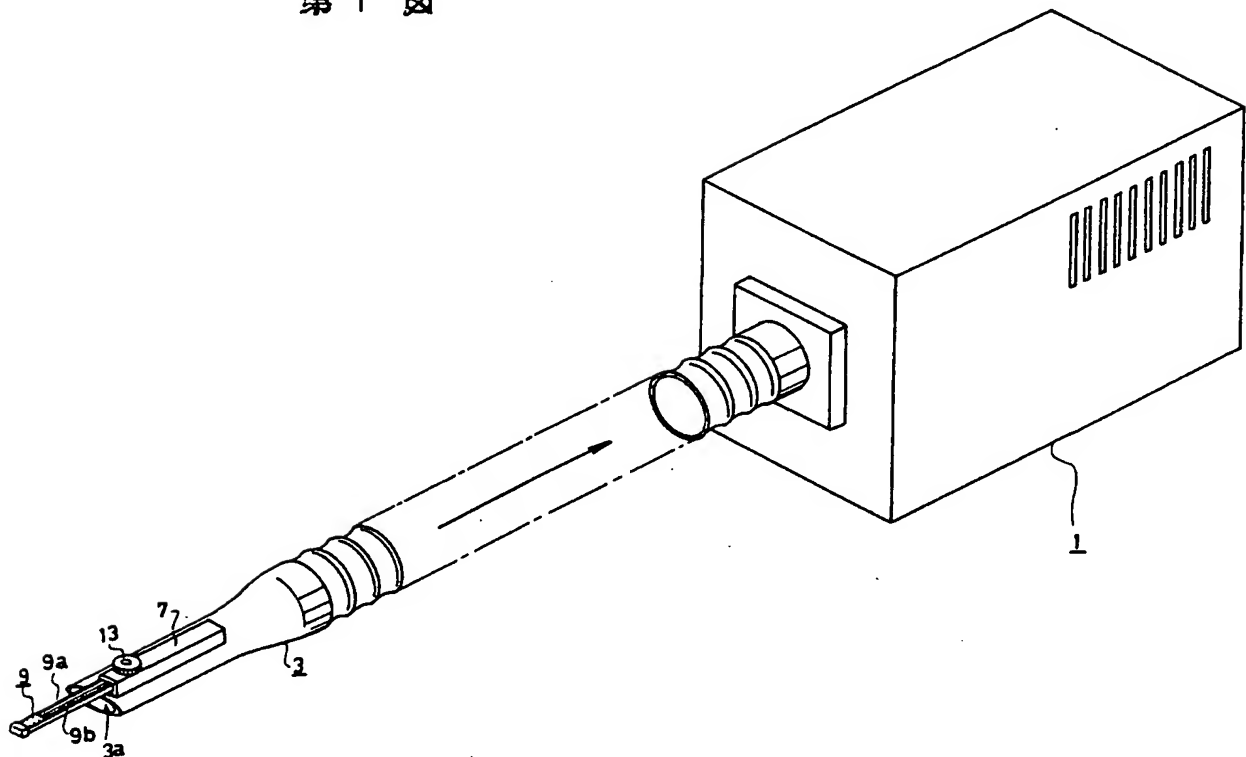
第1図は本発明方法を具体化した装置例を示す  
斜視図、第2図は第1図A-A線の縦断面図、第  
3図は作用を示す説明図、第4図及び第5図は本  
発明の変更実施例装置を示す説明図である。

図中1は吸引装置、4は髪、9は定規部材とし  
てのスケール板である。

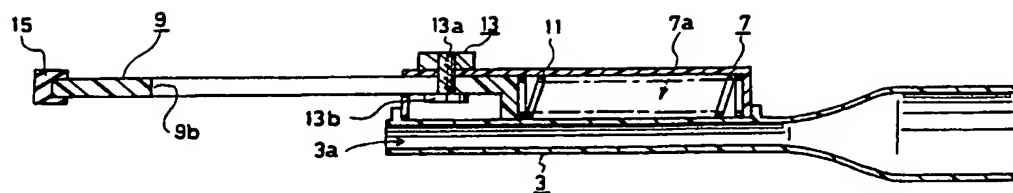
特許出願人 関谷 真樹

代理人 弁理士 伊 藤 研 一

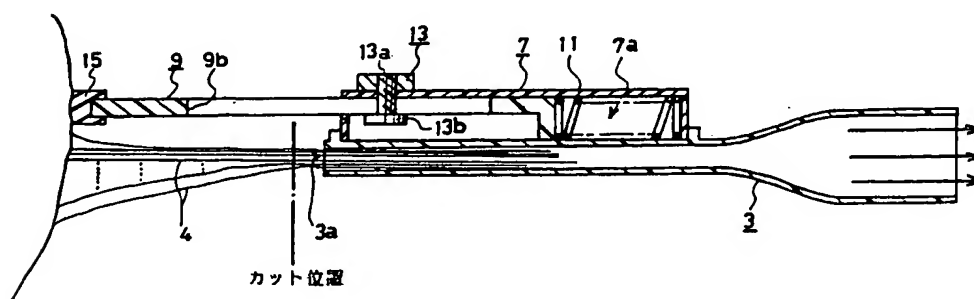
## 第 1 図



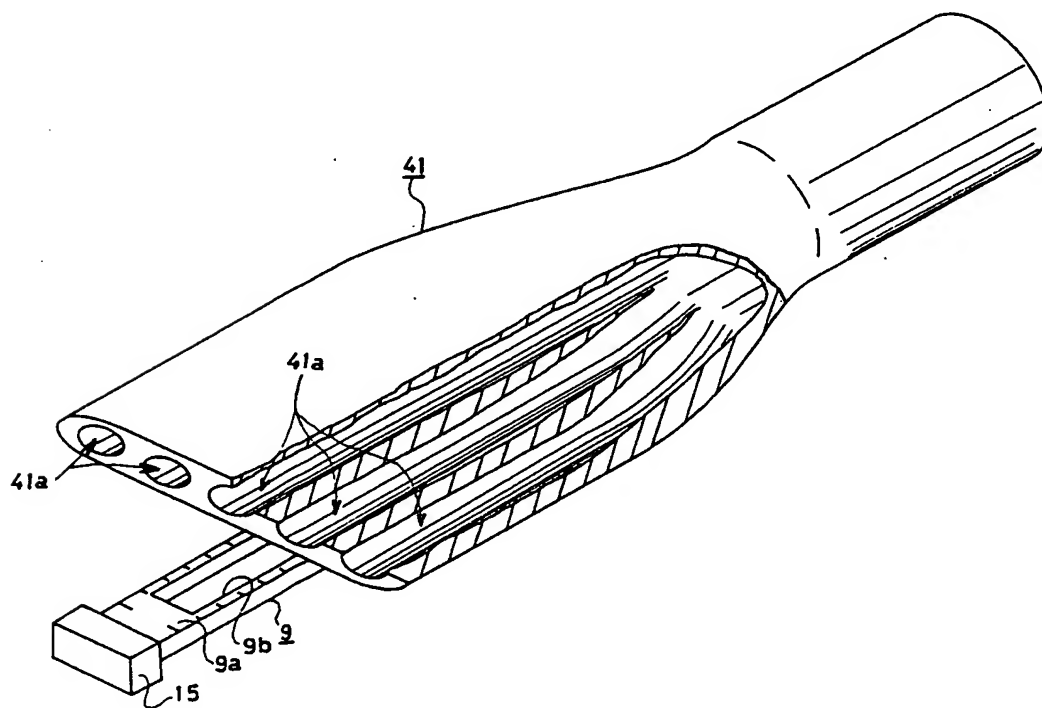
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

